

国立大学法人 岩手大学

事業名	多文化キッズキャンプ in 岩手 2016						
実施期間	平成28年1月9日～10日						
場 所	岩手山青少年交流の家						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者	合計
	18	38	14	8	2		80 名

<実施内容>

岩手、青森、宮城、福島の「外国につながる子どもたち」とその保護者が集まり、留学生と日本人学生が日本語の学習や教科学習の個別支援をしました。また、そり遊び、けん玉遊びなどを楽しんだり、体育館で一緒にスポーツに汗を流したりしました。スタッフによる絵本の読み聞かせや手遊び指導などもあり、充実した2日間を過ごしました。この活動を通じて、参加した留学生は日本人学生と協働して地域の多文化社会作りに貢献すると同時に、自分の国と日本社会とのつながりを改めて考える機会になりました。



①そり遊び



②かるたでひらがなの勉強



③地図を広げて地理・歴史の勉強



④3か国語で絵本の読み聞かせ



⑤みんなで日本の手遊び

<参加者からのコメント>

鄭玉螢さん(中国)/ZHENG YUYING(China)

日本にきて初めてこんなに多くの子供と一緒に遊んだり、勉強したりしました。子供に一時間半勉強させて、終わったら、リラックスの時間を作るのはとてもいいと思います。私と一緒に勉強した子はお父さんが英語を話す方でした。初めは彼女は黙って数学をされていて、話しかけても何の返事もしてくれませんでした。彼女が突然、英語を一言いったので、頑張って英語で話しかけたら彼女はやっといろいろ話すようになりました。自分は数学だけがすきとか、半年後ほかの国に行くとか将来弁護士になりたいとかいろいろ話してくれました。とてもかわいい子です。また、親の一人が中国人の子供が何人かいました。今までずっと中国で過ごしましたが日本に来たとき言葉が不自由だった、とか悩みを言ってくれました。子供と一緒にいるとき、自分も純粹になるような気がします。このイベントはきっといい思い出になると思います。

サロジャ・レグミさん(ネパール)/Saroja,Legmi(Nepal)

私は今回の合宿でたくさんの友達を作ることができました。今回の合宿は2年ぶりでしたけど2年前に来てた友達もたくさん来ていたので懐かしいなって思いました。今回の合宿での一番の思い出は大学生に勉強を丁寧にわかりやすく教えてもらったことです。大学生の人とも仲良くなることができてよかったです。夜バスケットボールや卓球をする時も仲良く楽しくやることができたのでよかったです。ごはんはとても美味しかったです。豚丼は3回おかわりしました。遠くの友だちに久しぶりに会えてとてもよかったです。帰る時はとても寂しかったけど来年も会えるからいいやって思ってお別れしました。今回の合宿はとても楽しかったです。また来年も行きたいです。